

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	平成29年7月31日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府京田辺市大住浜55番12号	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) パナソニックデバイス日東株式会社 代表取締役社長 老松 宗幸

環境マネジメントシステムの名称	環境マネジメントシステム (パナソニック株式会社AIS社デバイスソリューション事業部)
適用範囲	パナソニックデバイス日東株式会社
導入年月日	1997年 12月 22日
認証番号	EC10J0027
基本方針	パナソニックデバイス株式会社、オートティブ&インダストリアルシステムズ社、デバイスソリューション事業部は、上位組織のパナソニックグループ「環境宣言」及び、オートティブ&インダストリアルシステムズ社「環境方針」を受け、電子部品の製造・販売を通して、国・地域の法規制・条例・協定及びお客様の必要な要求事項を順守し、地球・地域・工場環境の汚染予防、並びに環境貢献と事業成長を両立する環境マネジメントを推進する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	①省エネルギー：CO2生産高原単位：'16年度比1%削減 ②廃棄物：リサイクル率 99.0%以上 ③水：使用量原単位改善率 '16年度比原単位改善達成率100%
目標を達成するための取組の内容	①省エネルギー：生産用冷却水チラーの高効率設備への更新、レンズ成形機の合理化 ②廃棄物：ガラスくずの処理業者変更によるリサイクル率向上 ③水：クーリングタワーの水使用量の適正化
目標を達成するための取組の進捗状況	①省エネルギー：上記取組内容はすべて実施済み。 ②廃棄物：ガラスくずの処理業者変更実施済み。 ③水：クーリングタワーの水使用量の適正化は実施済み。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①省エネルギー：上記取組を実施するも販売が落ち込み、生産高CO2原単位は1.25%悪化し、計画未達成。 ②廃棄物：リサイクル率100%となり計画達成。 ③水：上記取組を実施するも、販売が落ち込み、水使用量生産高原単位は9.9%悪化し、計画を未達成。
事業活動に係る法令の遵守の状況	・法律及び条例等の遵守事項については、定期的な監視・測定を実施し、順守事項の評価を行っている。 ・法律及び条例の要求事項から逸脱する事例は発生していない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO14001(2015年度版)改訂により環境マネジメントシステムの見直しを実施。 ・環境目標の設定に際し、「外部・内部の課題」、「利害関係者の要求事項」を考慮して「リスク及び機会」を明確にし、『取組み計画展開表』の作成を追加。 ・EMSの有効性評価シートを追加。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。